



duomo…イタリア語で町一番の教会という意味です。弊社がお客様や地域の人たちから親しまれ必要とされ町一番の会社になれるようにとの願いを込めてこの名前に決めました。

5月の連休を利用して蒜山の塩釜にキャンプに行ってきた。キャンプ場もそこへの道中も、そして、中蒜山の登山道からの景色も、草木のあまりの緑のきれいに感嘆の声を上げ続けて帰ってきました。1年のうちのほんのわずかな間だけ見ることができます。少しでも遅れると、緑は、初々しくて柔らかい生まれたての赤ちゃんのような何とも言えない緑色から濃い緑色へと変わります。同じ緑なんですけど心に響いて来るものが全く違います。何でこの時期の緑がそんなに心に響いて来るのか？それは多分、厳しい冬を乗り越えて豊かな季節の到来を告げる吉兆のサインとして人間のDNAの中に深く刻み込まれているからなのではないでしょうか。(^^)/

キッチン、和室、浴室、洗面室、トイレを断熱改修させて頂きました。(キッチン編)



【着工前】
約5帖のキッチンと隣の4畳半の和室と一間の押入がある。全てつないで一部屋のLDKにする。和室の既存の窓は塞いで、キッチンの窓は風が抜けるだけの小さくて、高性能な樹脂のペアガラス窓にする



【解体工事中】
キッチンと和室の間の押入を撤去して、天井を解体したところ。天井にも床下にも壁にも断熱材は施工されていなかった。左の写真は、床下に施工する断熱材



【断熱材施工中】
床にボード系断熱材厚さ90mmと60mm計150mmを施工した。壁には45mmの厚さのボード系断熱材を施工天井には厚さ105mmの繊維系断熱材を施工。

【工事完成後】▶



暖かい部屋にしたいというのがお施主様のご要望でした。それと、キッチンと和室の2部屋を一部屋にして広々と使いたいというのが2つ目のご要望。幸いにも押入の柱は構造には関係していなくて、撤去しても問題はなかったの、解体をして合計で12畳弱のLDKができました。断熱は、天井に厚さ105ミリの高性能ロックウールを2段重ねて敷き込みました。壁には塞いだ窓のところに同じく厚さ105ミリの高性能ロックウールと、外に面した壁全体に45ミリのボード系の断熱材を貼り付け計150ミリの厚さの断熱層を、床には、厚さ90ミリと60ミリのボード系断熱材を交差して敷き詰め合計150ミリの厚さの断熱層を作りました。

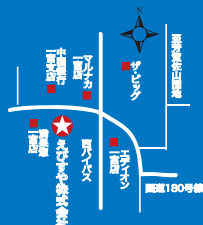
窓は、和室の窓を塞いで壁にして、キッチンの窓は風を通すための窓として小さくして、高性能な樹脂のペアガラスサッシに入れ替えました。

また、キッチンと和室だった部屋の南側の縁側についていた掃き出しの窓も、カバー工法という既存のサッシの枠を残したままで交換のできる方法で高断熱の樹脂のペアガラスサッシにしました。高断熱の部屋にすると、冬だけではなくこれから来る猛暑の夏でも快適に住むことができます。

仕上には壁と天井にフェザーフィールというドイツ製の上質な天然塗り壁材で塗装し、お部屋の空気をきれいにしてくれます。床はドイツオスモ社製のホワイトオークの無垢材で作られたフロアで施工していて傷に強く、塗られている塗装も天然由来の成分で作られていて室内環境を汚しません。

ここで生活をされるご家族の健康をしっかりと守ってくれるお部屋になりました。

勿論、住宅省エネ2025キャンペーン補助金もしっかりと利用させて頂いています。こちらでの補助金の予定金額は434,000円です。



ご連絡先

086-284-6170
えびすや 株式会社



〒701-1211 岡山市北区一宮113-1 E-mail. info@ebisuya-net.co.jp
FAX. 086-284-6175

HP <https://www.ebi-ken.com>
こちらから無断でお伺いすることはございません。